

# 【業績集】

## 1. 書籍、雑誌

笠谷亜紀:看護展望,メディカルフレンド社,2025;50-1

森健太郎:動作分析に基づいた腰背部痛の評価と治療,理学療法ジャーナル, 2025;59:No 2 1-5

## 2. 学術論文

若林時夫, 代田幸博, 吉江雄一, 富田剛治, 上田善道:膵粘液嚢胞性腫瘍と鑑別困難であった膵 simple mucinous cyst の1切除例, 膵臓 2024; 39(1): 63-71. DOI: 10.2958/suizo.39.63

若林時夫, 代田幸博, 竹田康人, 方堂祐治, 上田善道:広範囲に進展した胃型 IPMN に ITPN が混在した膵管内腫瘍の1例, 日本消化器病学会雑誌 2024; 121(5): 415-24. DOI: 10.11405/nisshoshi.121.415

Akihiko Kida, Yukihiro Shirota, Hideaki Shunto, Noriho Iida, Jun Asai, Hajime Takatori, Koichiro Matsuda, Kaheita Kakinoki, Akito Sakai, Takeshi Urabe: Endoscopic treatment of bile duct stones with benign choledochojejunal anastomotic stenosis, Gastrointestinal Endoscopy, 2024; 100(5): 886-895. DOI: 10.1016/j.gie.2024.05.003

Yukihiro Shirota, Yoshimichi Ueda, Yasuni Nakanuma, Yuichi Yoshie, Yasuhito Takeda, Yuji Hodo, Tokio Wakabayashi: Perihilar Cholangiocarcinoma Originating in Peribiliary Glands: Insights from a Case without Precancerous Lesions, American Journal of Case Reports, 2024; 25: e945519. DOI: 10.12659/AJCR.945519

Yukihiro Shirota, Yoshimichi Ueda, Katsuaki Sato, Takayoshi Koura, Yasuhito Takeda, Yuji Hodo, Tokio Wakabayashi: Localized light chain amyloidosis of the stomach that regressed after eradication of Helicobacter pylori over 15 years of follow-up: a case report and new hypothesis, Clinical Journal of Gastroenterology, 2025; 18(2): 269-277. DOI: 10.1007/s12328-025-02097-z.

永井幸広, 若林時夫, 代田幸博, 方堂祐治, 竹田康人, 柴山千秋:主膵管内気腫を認めた膵管内乳頭粘液性腫瘍の一例, 日本臨床内科医学会誌 2025; 39(5): 271-273.

Fujisawa Y, Horita S, Wakabayashi K: A Case of Macrophage Activation Syndrome With Elderly Onset Still's Disease Under Tocilizumab Treatment, Cureus 2024; 29; 16(4): e59285. DOI: 10.7759/cureus.59285

Fujisawa Y, Horita S, Wakabayashi K: Efficacy of sutimlimab for cold agglutinin disease in a patient on chronic hemodialysis, CEN Case Report 2025; 14(2): 119-123. DOI: 10.1007/s13730-024-00917-8

Fujisawa Y, Horita S, Wakabayashi K: Deep Vein Thrombosis Caused by Hip Ganglion, Intern Medicine 2025. DOI: 10.2169/internalmedicine.4282-24

### 3. 学会・研究会・講演会演者

青木裕(発表), 西村立也, 山城輝久, 豊岡加朱, 伊與部貴大, 川北整: 二次性骨折予防継続管理料加算導入による脆弱性大腿骨近位部骨折受傷後の骨粗鬆症診療の変化, 第 53 回北陸骨折研究会, 令和 7 年 2 月 16 日, 金沢市.

川北整(座長): 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 令和 6 年 10 月, 金沢市.

代田幸博(座長): 臨床検査技師が要となるウイルス性肝炎撲滅対策, 令和 6 年 4 月 16 日, 17 日, Web 開催.

代田幸博(発表), 小浦隆義, 竹田康人, 方堂祐治, 若林時夫: ヘリコバクターピロリ除菌後に改善した胃限局性軽鎖アミロイドーシスの 1 例, 第 122 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会, 令和 6 年 6 月 30 日, 福井県吉田郡.

竹田康人(発表), 方堂祐治, 代田幸博, 若林時夫, 鈴木光隆: リンチ症候群が疑われる十二指腸癌に対してペムブロリズマブが著効した一例, 日本消化器病学会北陸支部 第 137 回支部例会, 令和 6 年 6 月 16 日, 福井県吉田郡.

方堂祐治(発表), 竹田康人, 代田幸博, 若林時夫: 肝膿瘍の治療中にメロニダゾール脳症を合併した一例, 日本消化器病学会北陸支部 第 138 回支部例会, 令和 6 年 10 月 20 日, 石川県河北郡.

小浦隆義(発表), 高畠一郎, 大野健次, 土山寿志, 代田幸博, 稲木紀幸, 山口泰志, 大野秀棋, 鍛冶恭介: 対策型胃内視鏡検診における未分化型胃癌の現状と課題, JDDW 2024, 令和 6 年 10 月 31 日, 兵庫県神戸市.

大野 健次(発表), 高畠一郎, 稲木紀幸, 代田幸博, 土山寿志, 崎川能考, 小浦隆義, 山口泰志, 竹内正勇, 魚谷知佳, 大野秀棋, 鍛冶 恭介: 金沢市対策型内視鏡検診におけるヘリコバクターピロリ陰性と考えられた胃底腺型胃癌 腺窩上皮型胃癌の検討, JDDW 2024, 令和 6 年 10 月 31 日, 兵庫県神戸市.

代田幸博(発表), 竹田康人, 方堂祐治, 若林時夫: 細径内視鏡を用いた ESD の経験, 第 123 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会, 令和 6 年 12 月 1 日, 石川県金沢市.

代田幸博(司会): 多死社会に向けた病診連携の在り方～看取りを中心に～, 令和 6 年度勤務フォーラム(石川県医師会/金沢市医師会), 令和 6 年 12 月 2 日, 石川県金沢市.

リヒマンミング, 竹田康人, 堀田成人, 代田幸博: 膀胱破裂による偽性腎不全の例, 第 255 回日本内科学会北陸地方会, 令和 7 年 3 月 9 日, 石川県金沢市.

代田幸博(発表):一勤務医から見た救急医療体制の課題 ―救急救命士特定行為拡大の動きと救急医療体制の諸問題―, 石川県救命救急研究会 第 42 回学術集会, 令和 7 年 3 月 16 日.

武田仁裕(演者):高血圧におけるレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系のエピジェネティック制御, 高血圧フォーラム 2024, 令和 6 年 5 月, 東京.

吉岡佳子(演者), 武田仁裕, 藤本彩:SGLT2 阻害薬服用中に糖質制限を行い、正常血糖ケトアシドーシスをきたした一例, 第 98 回 糖尿病中部地方会, 令和 6 年 9 月, 金沢市.

宮崎佳子(演者), 武田仁裕, 藤本彩:鑑別に苦慮した頸部痛を伴う甲状腺中毒症の一例, 第 14 回 金沢甲状腺研究会, 令和 7 年 3 月, 金沢市.

吉田美咲, 若林慶子, 堀田成人(共同演者):関節リウマチにおける多剤併用による影響, 第 35 回 中部リウマチ学会, 2024 年 9 月, 津市.

吉田美咲, 若林慶子, 堀田成人(共同演者):ANCA 陰性 pauci-immune 型半月体形成性糸球体腎炎を呈した高安動脈炎の一例, 第 32 回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会, 2024 年 10 月, 金沢市.

堀田成人(発表), 若林慶子, 吉田美咲:慢性腎臓病の病診連携の取り組みについて. 2025 年 3 月, 金沢市.

齋藤優生(講師):再就業支援セミナー「看取りケア」, 令和 6 年 10 月, 金沢市.

齋藤優生(講師):金沢医科大学病院主催 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム, 令和 6 年 9 月, 金沢市.

多壽遼子(講師):石川県看護協会研修「その人らしさを大切にする緩和ケア」, 令和 6 年 7 月, 金沢市.

多壽遼子(講師):再就職支援セミナー「看取りケア」, 令和 6 年 10 月, 金沢市.

多壽遼子(講師):星陵高等学校特別講座「緩和ケアについて」, 令和 6 年, 9 月, 金沢市.

北川カズ美(講師):日本手術看護学会「令和 6 年能登半島地震からみた災害対策」, 令和 6 年 8 月, 金沢医科大学病院.

北川カズ美(講師):日本手術看護学会「令和 5 年能登半島地震からみた災害対策」, 令和 6 年 11 月, オンデマンド配信.

西尾道子(講師):日本フットケア足病医学会 東海・北陸地方会学術集会, 令和 6 年 10 月, 静岡県沼津市, 実技講習会.

西尾道子(ファシリテーター):日本フットケア・足病医学会年次学術集会, 令和 6 年 12 月, 兵庫県神戸市, 教育研修委員会主催 認定師・フットケア指導士交流会.

林直博(座長):Vit.E 固定化膜、アレルギー、抗酸化作用, 第 69 回日本透析医学会学術集会・総会, 令和 6 年 6 月 8 日, 神奈川県横浜市.

後藤義之(発表):当院における誤嚥性肺炎患者の抗菌薬使用状況調査, 日本医療薬学会 第 34 会日本医療薬学会年会, 千葉.

角紀一郎(発表):腎排泄型薬剤の適正使用に向けた業務の標準化への取り組み, 石川県病院薬剤師会 令和 6 年度第 1 回(通算 174 回)学術研修会, 令和 7 年 1 月, 金沢市.

島崎沙織(発表):ナルフラフィン塩酸塩からジフェリケファリン酢酸塩への切り替えによる有効性、安全性の検討, 石川県病院薬剤師会 令和 6 年度第 1 回(通算 174 回)学術研修会, 令和 7 年 1 月, 金沢市.

島崎沙織(演者、パネリスト):心不全療養指導士による薬学的支援, 第 16 回 YACREN セミナー, 令和 7 年 3 月, WEB 開催.

島崎沙織(講師):ミニレクチャー心不全の薬物治療について, 石川県心不全メディカルスタッフネットワーク勉強会、令和 5 年 10 月, WEB 開催.

梅下翔(シンポジスト):被災地域の病院薬剤師から見た震災対応, 第 17 回日本緩和医療薬学会年会 緊急特別シンポジウム, 令和 6 年 5 月, 東京都.

梅下翔(講師):医療とケアの視点から見る死生観に関して生じ得るジレンマ, 第 75 回地域緩和ケアカンファレンス, 令和 6 年 11 月, 金沢市(WEB 開催).

梅下翔(講師):痛いのはいやなんです, 石川県がん安心生活サポートハウス おくすりカフェ, 令和 6 年 12 月, 金沢市.

松岡未紗(講師):石川県病院薬剤師会 新任薬剤師研修会, 令和 7 年 7 月, 河北郡内灘町.

笠松正夫(シンポジスト):キャノン CT ユーザー会, 令和 7 年 2 月, 金沢市.

塚田靖憲(発表):第 1 回北陸 MAG 研分科会, 令和 6 年 11 月 30 日, 金沢市.

塚田靖憲(発表):第 43 回東海超音波研究会, 令和 7 年 1 月 19 日, 名古屋市.

塚田靖憲(発表):第 7 回北陸超音波研究会, 令和 7 年 2 月 23 日, 金沢市.

中川範彦(講師):令和 6 年能登半島地震への活動報告「市立輪島病院への人的支援」, 石川県臨床検査技師会定時総会, 令和 6 年 5 月, 金沢市.

竹田ひとみ(講師):タスクシフト/シェアに関する厚労省大臣指定講習会「静脈路確保」, 令和 6 年 10 月, 金沢市.

竹田ひとみ(発表):早朝採血削減プロジェクト～看護師と臨床検査技師のタスクシフト/シェア, 第 77 回済生会学会, 令和 7 年 2 月, 松山市.

森健太郎(司会):リハビリテーションマインドと理学療法士に求められること, 石川県理学療法士会学術局主催研修会, 令和 6 年 5 月 26 日, 金沢市.

原淳子(講師):新人オリエンテーション, 石川県理学療法士会学術局主催研修会, 令和 6 年 5 月 26 日, 金沢市.

森健太郎(司会):膝窩部痛に対するエコー診療, 石川県理学療法士会学術局主催研修会, 令和 6 年 7 月 25 日, 金沢市.

天日龍馬(発表), 塩原祥貴, 浜川健, 岸谷都:重度左片麻痺患者に対して課題指向型アプローチを実施し、麻痺手の行動変容が得られた一症例, 第 23 回東海北陸作業療法学会, 令和 6 年 9 月 14 日, 金沢市.

大坪奏太(発表), 浅井仁, 菅田碧, 趙明済, 中村真衣:前後方向における身体傾斜の角度計による表出方法の有用性, 第 8 回若手研究者ネットワークシンポジウム, 令和 6 年 8 月, 奈良県.

森健太郎(講師):能登半島における 1.5 時避難所での活動の実際, 石川県理学療法士会学術局主催研修会, 令和 6 年 10 月 4 日, 金沢市.

大坪奏太(発表), 浅井仁, 菅田碧, 趙明済, 中村真衣:前後方向において知覚された立位位置の角度計による表出方法の有用性、第 29 回日本基礎理学療法学会学術大会, 令和 6 年 10 月, 東京都.

森健太郎(座長):運動器系, 石川県理学療法士会学術局主催症例検討会, 令和 6 年 10 月 17 日, 金沢市.

野澤寿規(症例提示):多発骨折を受傷し、荷重を進めるにあたって歩行補助具を検討した一症例, 石川県理学療法士会学術局主催症例検討会, 令和6年10月, 金沢市.

森健太郎(講師):管理者研修会, 県士会のミライを考える, 新生涯学習制度の現状と課題, 石川県理学療法士会主催研修会, 令和6年11月2日, 金沢市.

森健太郎(講師):シンポジウム7, 自然災害に対して理学療法士ができること～災害時および平時における理学療法士の多様な視点を学ぶ～能登半島地震における災害リハビリテーション, 第11回日本予防理学療法学会学術大会, 令和6年11月9日～10日, 仙台市.

宮本知華(発表), 浜川健, 岸谷都, 西村立也:整形外科術後患者における術後せん妄に関連する因子について, 第7回済生会リハビリテーション研究会、令和6年11月, 滋賀県草津市.

野澤寿規(発表), 若山美由樹, 宮田寛子, 浜川健, 平口山榛花, 岸谷都:多発外傷を受傷した一症例に対して関節保護や再転倒予防に配慮して理学療法を実施した経験, 第7回済生会リハビリテーション研究会、令和6年11月, 滋賀県草津市.

森健太郎(講師):第2回大阪JRAT研修会, 1.5時避難所でのJRAT活動について, 大阪JRAT主催研修会, 令和7年1月25日, 大阪府.

森健太郎(司会):2024年度ネットワーク構築事業、整形外科疾患でつながろう, 石川県理学療法士会地区活性局主催研修会, 令和7年2月2日, 金沢市.

下郷遙(発表), 久保田雅史, 塩原祥貴, 盛岡哲也, 堀田博之, 浦田恵, 川北整, 岸谷都:回復期リハビリテーション病棟における不全頸髄損傷患者の歩行自立に関する予測因子の検討, 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 札幌, 令和7年2月21日、札幌市.

宮田寛子(発表), 山川友和, 浦田恵, 森健太郎, 古矢泰子, 岸谷都:能登半島地震発生後の院内の対応と院外での支援活動を振り返って, 第33回石川県理学療法学会学術大会, 令和7年2月23日, 白山市.

森健太郎(講師):令和6年度JRAT-MIYAGI災害リハビリテーション研修会, 令和6年能登半島地震に学ぶ, 令和6年能登半島地震における石川JRATによる支援の実際, 宮城JRAT主催研修会, 令和7年3月1日, 仙台市.

佐々木亜紗奈(講師):現職者選択研修老年期領域老年期の作業療法実践, 石川県作業療法士会主催研修会, 令和7年1月19日, 金沢市.

佐々木亜紗奈(講師):住宅改修講習会アドバンス編疾患と住宅改修, 金沢福祉用具情報プラザ主催講習会, 令和6年8月7日, 金沢市.

山本史佳(講師):令和6年度石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会, 石川県言語聴覚士会主催研修会, 令和6年7月14日, 8月18日, 9月8日, 9月21日, 金沢市.

山本史佳(講師):会員研修プログラムベーシックコース「高次脳機能障害」, 石川県言語聴覚士会主催研修会, 令和6年11月30日, 金沢市.

## 4. その他

武田仁裕(演者):合併症の撲滅に向けた糖尿病の治療戦略, 石川県女性薬剤師会 第2回研修会, 令和6年10月, 金沢市.

島崎沙織(インタビュー):「北陸大学の学び」ようこそ先輩インタビュー.

島崎沙織(司会):石川県心不全メディカルスタッフネットワーク勉強会, 令和 6 年 8 月, WEB 開催.

梅下翔(座長):シンポジウム 2 いきるということ～能登半島地震を経験して～, 第 64 回北陸信越薬剤師大会・第 57 回北陸信越薬剤師学術大会, 令和 7 年 2 月, 金沢市(ハイブリッド開催).

梅下翔(学会委員会):日本緩和医療薬学会 災害対策緩和薬物療法タスクフォースメンバー, 令和 6 年 10 月～.

後藤義之(問題作成):日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師試験問題作成委員, 令和 6 年 7 月～8 月.

# 【院内研究発表会】

開催なし

## 【第77回済生会学会 発表論文】

令和7年2月15日（土）～16日（日） 会場：愛媛県民文化会館 愛媛看護研修センター

| 発表論文                                   | 部署        | 発表者   |
|----------------------------------------|-----------|-------|
| 手術室に配属された外国人看護師の思い                     | 看護部 診療支援部 | 地黄 伸子 |
| 早期採血削減プロジェクト<br>～看護師と離床検査技師のタスクシフト／シェア | 検査部       | 竹田ひとみ |

## 【看護部事例発表会】

令和6年12月6日(金)    13時 30分 ～ 16時 00分    於:討議室、リモート開催(Zoom)

| NO. | 発表名                                   | 病棟・発表者           |
|-----|---------------------------------------|------------------|
| 1   | AYA 世代の終末期患者との関わりを振り返って               | 3A 病棟    村田   真子 |
| 2   | 片麻痺をもつ患者のセルフケア不足<br>～ストマ管理自立に向けての関わり～ | 3B 病棟    西山   千愛 |
| 3   | 身体抑制をしている認知症患者との関わりを通して               | 4A 病棟    竹中   美優 |
| 4   | 呼吸困難感を訴える患者との関わりを通して学んだこと             | 4A 病棟    村田   瑠奈 |
| 5   | 術後の早期離床ができなかった患者との関わりを通して<br>学んだこと    | 4A 病棟    松尾   あみ |
| 6   | 手術後食事摂取が進まない患者との関わりを通して学んだこと          | 4B 病棟    白江   彩華 |
| 7   | 糖尿病教育に無関心だった患者との関わりを通して学んだこと          | 5A 病棟    山崎   真波 |
| 8   | 本人の意思に寄り添った退院支援<br>～尿閉患者との関わりを通して～    | 5A 病棟    小竹   佳奈 |
| 9   | 終末期患者の苦痛緩和に対する看護を振り返って                | 5B 病棟    田村   優佳 |